

活動名称 (40字以内)	日本の伝統文化である花火について知り、花火について考える			
団体名等	蔭山達矢			
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順	
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査	
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	2 人	
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動			
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動				
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う			
大学院学生	<input type="checkbox"/> 含む <input checked="" type="checkbox"/> 含まない			
参加資格等	学部学生(2022年度以前の参加者も参加可能)			
活動期間	8月 ~ 12月	主な活動予定場所	東京(地方遠征有)	
	延べ10日間			
目的	日本の伝統文化でもある花火について、コロナ禍を経験した今だからこそ、花火について深く知り、体験することで、花火の未来についてについて考えてみたい。			
具体的な内容 (800字程度)	<p>コロナ禍に見舞われたこの3年余りの間、多くの花火大会も中止に追い込まれましたが、昨年からは、感染症対策を実施した花火大会が再開されはじめました。今年こそは、東京でも多くの花火大会が無事開催されることを期待しております。</p> <p>今回の体験活動は、花火会社や花火師の皆さんにご協力いただき、実施します。昨年の本企画で受け入れ先として協力いただいた一般社団法人日本花火推進協会(東京オリンピック・パラリンピックでの花火打ち上げを担当)や関係の花火会社にも可能な範囲でご協力いただくことを調整しております。</p> <p>「日本の伝統文化である花火について知り、花火について考える」と題した体験活動を次のとおり計画しています。</p> <p>「花火について知る」、「花火を体感する」、「花火について考える」の3つパートを実施。花火に関する基礎知識を習得し、今夏～秋に実施される花火大会の鑑賞や花火関係の実地を体験。併せて、ご協力いただける花火師のみなさんのアドバイスを受け参加者のグループが協力し、花火業界が抱える課題や社会とのつながりをディスカッションや調査を行い、アウトプットするなど花火に関するフィールドワークを実施する。</p> <p>1)花火について知る(オンラインもしくは実地) ・花火レクチャー(①花火の歴史、②花火の種類、③花火の製作、④花火の技術、⑤花火鑑賞方法 等)</p> <p>2)花火を体感する(実地) ・花火製造現場体験 ・花火関係展示施設見学 ・花火大会鑑賞 ・花火大会ボランティア、花火大会翌日清掃ボランティア など体験可能な事項を実施。 ※昨年は、花火甲子園(愛知県蒲郡市)、大曲の花火～秋の章(秋田県大仙市)を鑑賞。</p> <p>3)花火について考える(オンラインもしくは実地) 参加者を4・5人のグループに分け、花火に関する課題について、グループによる調査・研究(①「芸術としての花火」、②「花火と地域振興」、③「コロナ禍における花火大会の在り方」 等)を実施します。 (4～5回のグループミーティングを) また、過去に本プログラムへ参加したことのある者は、過去の課題とは異なるテーマについての研究やプライベート花火大会の企画・運営を行います。</p>			
備考	参加者が決定次第、オリエンテーションを実施します。(7月下旬見込)			
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載		
	交通費 10,000 円 宿泊費 5,000 円 その他 5,000 円 計 20,000 円	東京大学からの奨励金を利用した自己負担の概算金額となります。 奨励金額 活動後に算出		
ウェブサイト等	大曲の花火～秋の章(2022.10.1) https://www.youtube.com/watch?v=IZ1zQTudxEY 一般社団法人 日本花火推進協会 https://hanabi2020.jp/ 同会の過去に実施した事業 https://hanabi2020.jp/project/2022/ 令和4年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業(イノベーション型プロジェクト)採択			